

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
地 方 自 治 ・ 地 方 行 政		
持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン	筧 祐介	英治出版
公共サービスの産業化と地方自治 「Society5.0」戦略下の自治体・地域経済	岡田 知弘	自治体研究社
議 会		
議会が変われば自治体が変わる 神原勝・議会改革論集	神原 勝	公人の友社
ま ち づ くり		
近未来モビリティとまちづくり 幸福な都市のための交通システム	安藤 章	工作舎
そ の 他		
数字でみる港湾 2019	国土交通省港湾局	日本港湾協会
写真アルバム 和歌山市の昭和	山田 恭幹	樹林舎
日本の田舎は宝の山	曾根原 久司	日本経済新聞出版社

見どころ満載！「秋」と「あき」の和歌山城



朝夕はめっきり涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。
夏の暑さで外に出かけるのがおっくうだった分、これからのお出かけは楽しみなのではないでしょうか。

私のこの季節の楽しみは、毎年10月中旬から11月中旬にかけ、和歌山城の表坂で行われる「菊花展」です。思わず声が出てしまうほど見事な大輪の菊の花がたくさん並び、見ていると豊かな気持ちになります。

菊花展に並ぶような花を咲かせるためには、専門知識が必要で、水やりの仕方、用土の調合、肥料を与える時期、病害虫の対策など、手間隙を惜しまずに育てなければならないそうです。
愛情をたっぷり受けた花々を見せていただけるのは、とてもありがたいことですね。

そんな菊の花にまつわる「重陽（ちょうよう）の節句」を御存じでしょうか。
3月3日の「桃の節句」、5月5日の「端午の節句」などと同様に、9月9日は「重陽の節句」となっています。これは別名「菊の節句」とも呼ばれ、今は余りなじみがありませんが、菊を浮かべたお酒を飲み、長寿を願う風習があったそうです。



9月には、和歌山城動物園にニホンジカの赤ちゃんの「あき」が誕生し、見どころも増えた和歌山城！
皆さんもこの時期に散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

※参考資料 国語大辞典、大歳時記